第 2 章

地域福祉に関する日野市の現状・課題

1 地域福祉に関する日野市の現状

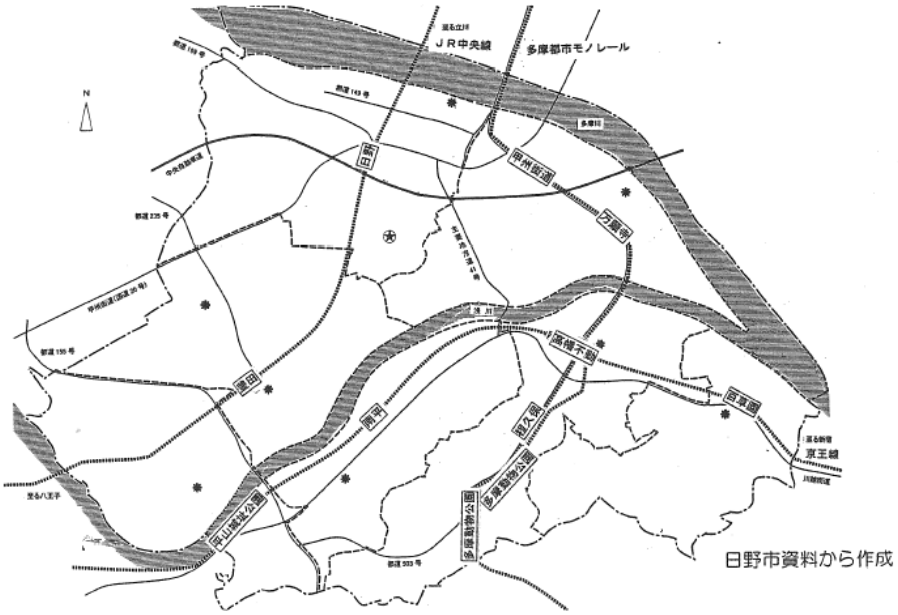
（1）日野市をとりまく人とまちの状況

① 概況・地勢

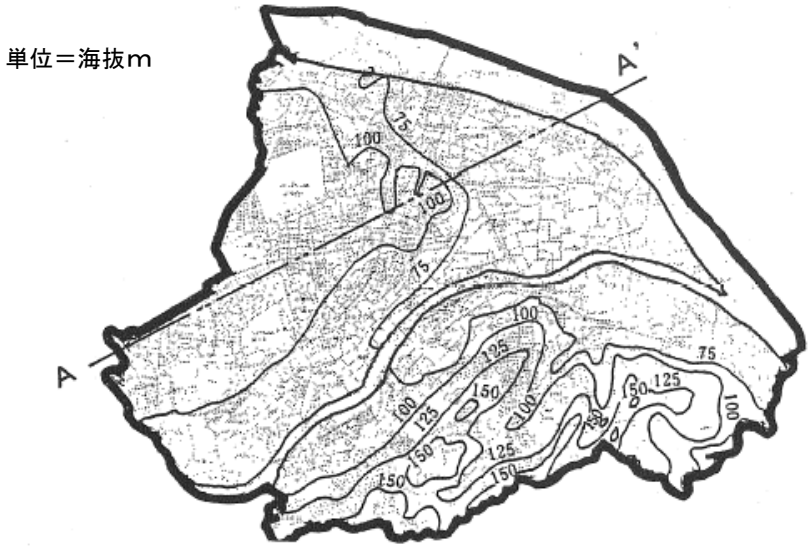
日野市は、東京のほぼ中央に位置し、北部に流れる多摩川と中央部を流れる浅川を骨格とし、南部は丘陵地（七生丘陵）で構成された起伏に富む地形をしています。また、市内にＪＲ、京王線や多摩都市モノレール等の交通網が形成されています。

図表 2-1　日野市の位置

図表 2-2　日野市域

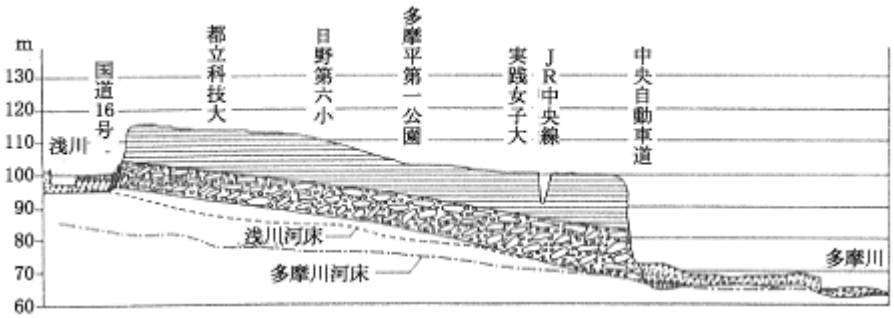


図表 2-3　日野市の地形



資料：日野市下水道課「日野市公共下水道基本計画・調査編」

Ａ－Ａ’　断面図



資料：日野市緑と清流課

図表 2-4　市内駅別１日当たり乗降客数（平成 25 年度）

単位：人

区分	ＪＲ中央線		京王線					多摩都市モノレール				
	日野	豊田	百草園	高幡不動	多摩動物公園	南平	平山城址公園	甲州街道	万願寺	高幡不動	程久保	多摩動物公園
乗車人員総　数	28, 651	30, 910	3, 855	29, 809	3, 377	5, 502	4, 527	3, 854	3, 800	13, 259	820	1, 249
降車人員総　数	28, 651	30, 910	3, 686	29, 727	3, 239	5, 432	4, 463	3, 593	3, 765	13, 398	712	1, 257

資料：東日本旅客鉄道㈱八王子支社総務部企画室、京王電鉄㈱計画管理部企画担当、日野市都市計画課

②　人口・世帯の状況

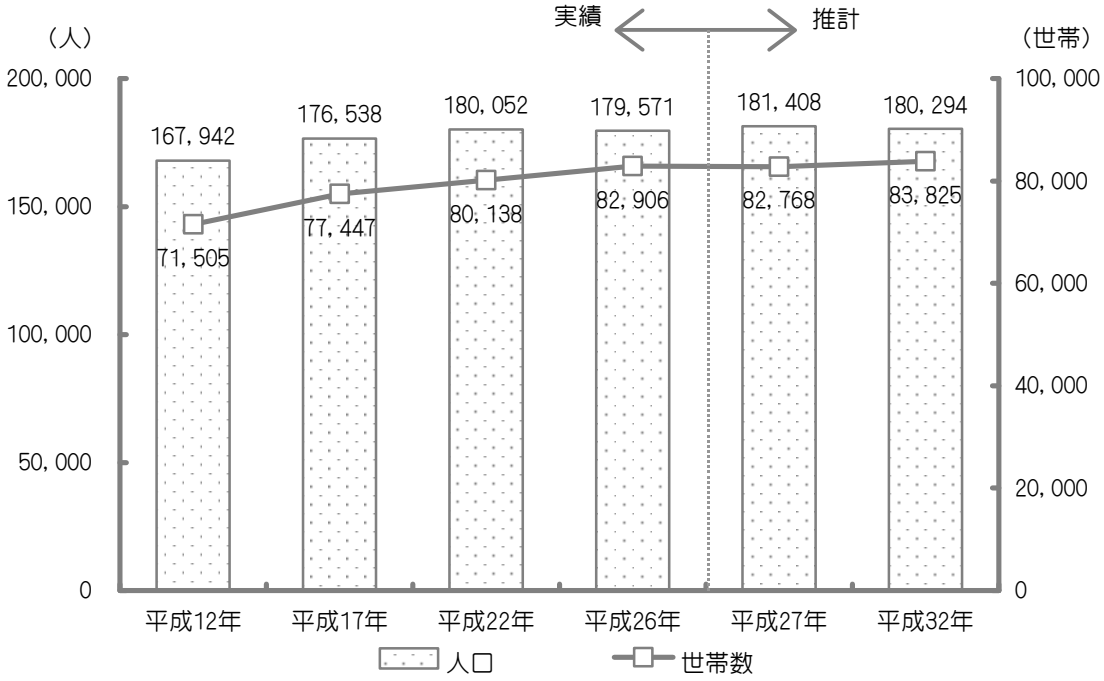
日野市の人口・世帯は、昭和 40 年代の多摩丘陵の開発に伴って急激に増加し、その後は緩やかな増加に転じています。

人口は平成 26 年１月１日現在で 179,571 人（外国人を含む）となっています。今後もしばらくは微増傾向にありますが、平成 32 年には 180,294 人と推計され、初めてやや減少傾向に転じると見込まれています。

また、世帯数は平成 26 年１月１日現在で 82,906 世帯ですが、増加傾向が続き、平成 32 年には 83,825 世帯と推計されています。

以上のことから、世帯当たりの人員が減少していくと見込まれます。

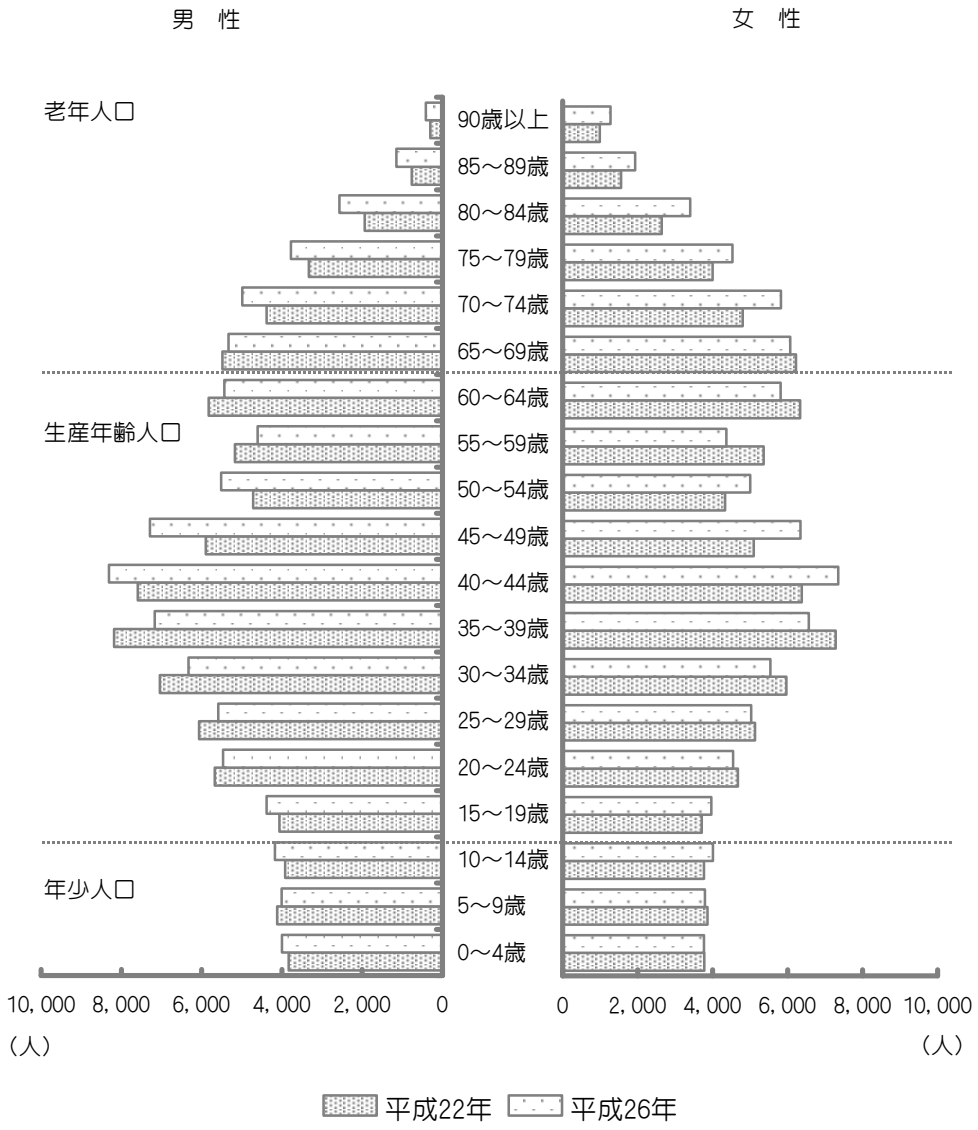
図表 2-5　人口と世帯数の推移と推計



資料：［推移］総務省統計局「国勢調査」、［推計］東京都総務局統計部統計調査課
注）平成 26 年は日野市市民窓口課「住民基本台帳」（１月１日現在）

平成 26 年 1 月 1 日現在の年齢階級別人口ピラミッド※をみると、昭和 46 年から昭和 49 年生まれの第二次ベビーブームを含む 40 歳代前半が最も多くなっています。また、平成 22 年との比較では、70 歳以上の高齢者数が増加する一方で、19 歳までの年少人口も微増していることがわかります。

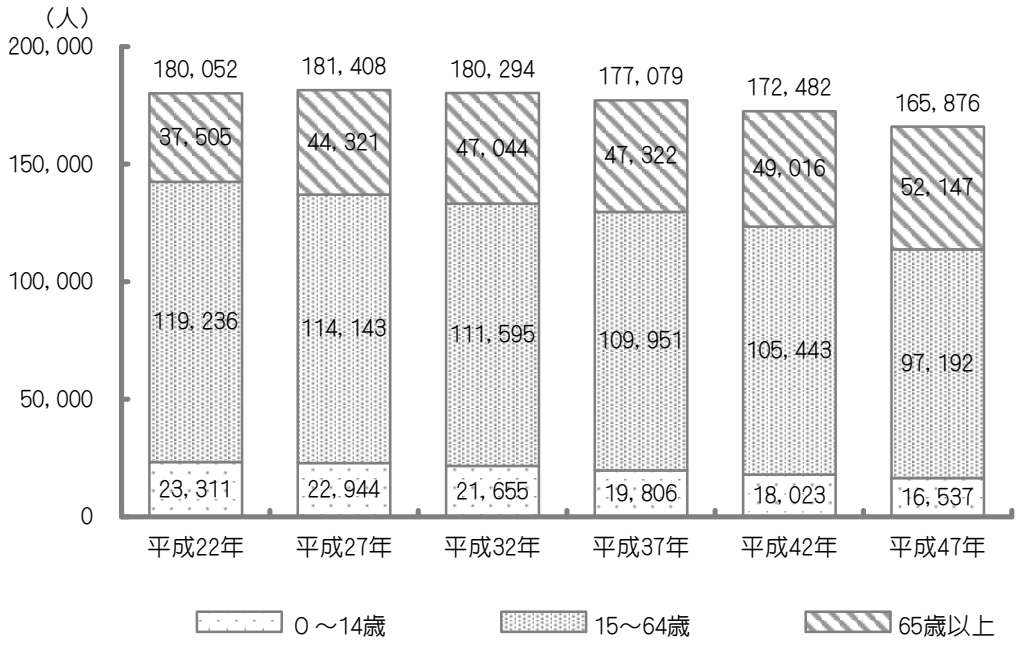
図表 2-6　年齢階級別人口ピラミッド（平成 26 年と平成 22 年の比較）



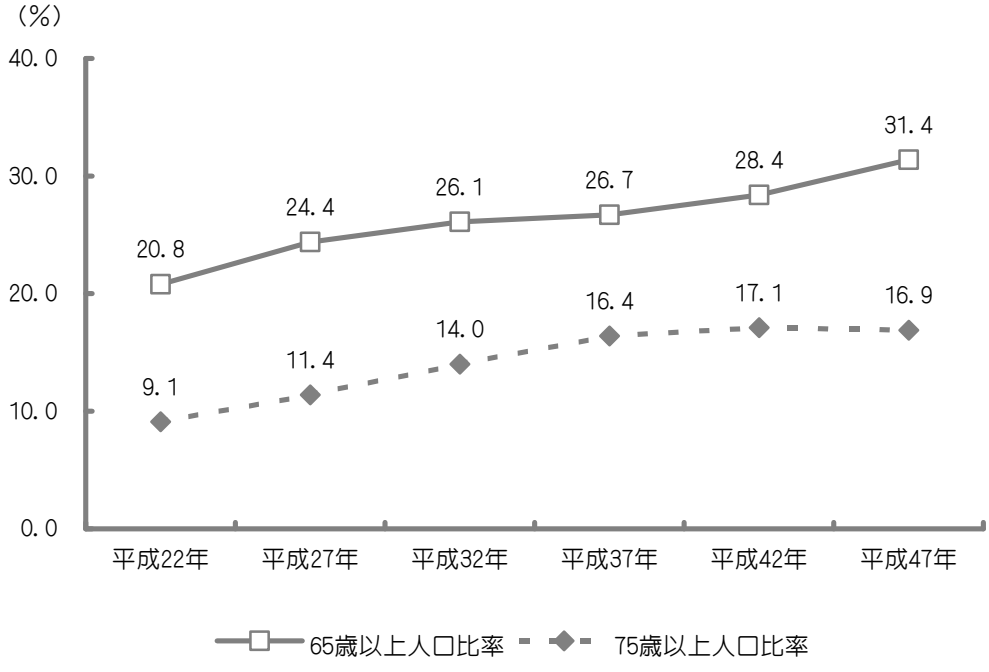
資料：日野市市民窓口課「住民基本台帳」（各年１月１日現在）

日野市の高齢化率※は、65 歳以上が４人に１人に近づいており、今後ますます高くなっていくと見込まれます。

図表 2-7　年齢３区分人口の推移



図表 2-8　高齢化率の推移



資料：［推計］東京都総務局統計部統計調査課
注）平成 22 年国勢調査結果を基準人口として算出

③　中学校区別の人口

図表 2-9　地区別の人口＜中学校区別＞（平成 26 年１月１日現在）

【　日野市全体　】

全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上（再掲）	
	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
179,571	23,749	13.2	114,578	63.8	41,244	23.0	19,042	10.6

以下＊では、町内に中学校区が複数あり、按分しているため、各中学校計と日野市全体人口が異なっています。

【　第一中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
神明１丁目*	765	104	13.6	562	73.5	100	13.1	37	4.8
神明４丁目*	881	122	13.8	612	69.5	148	16.8	61	6.9
大字宮	455	44	9.7	312	68.6	99	21.8	59	13.0
大字上田	1,181	202	17.1	744	63.0	235	19.9	87	7.4
大字石田*	744	144	19.4	495	66.5	105	14.1	43	5.8
大字川辺堀之内*	613	75	12.2	402	65.6	137	22.3	49	8.0
大字日野	10,640	1,665	15.6	6,934	65.2	2,041	19.2	880	8.3
日野本町１丁目	436	55	12.6	288	66.1	93	21.3	36	8.3
日野本町２丁目	1,064	91	8.6	738	69.4	235	22.1	130	12.2
日野本町３丁目	1,057	153	14.5	784	74.2	120	11.4	46	4.4
日野本町４丁目	1,521	181	11.9	987	64.9	353	23.2	172	11.3
日野本町５丁目	1,423	173	12.2	878	61.7	372	26.1	194	13.6
日野本町６丁目	379	44	11.6	244	64.4	91	24.0	47	12.4
日野本町７丁目	495	52	10.5	346	69.9	97	19.6	47	9.5
万願寺１丁目	1,423	255	17.9	911	64.0	257	18.1	167	11.7
万願寺２丁目	1,947	325	16.7	1,313	67.4	309	15.9	123	6.3
万願寺３丁目	2,255	375	16.6	1,575	69.8	305	13.5	108	4.8
万願寺４丁目	1,415	231	16.3	1,041	73.6	143	10.1	72	5.1
万願寺６丁目*	1,094	177	16.2	722	66.0	195	17.8	79	7.2
計	29,788	4,468	15.0	19,888	66.8	5,435	18.2	2,437	8.2

【　大坂上中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
栄町１丁目	1,487	221	14.9	1,069	71.9	197	13.2	82	5.5
栄町２丁目	1,580	223	14.1	987	62.5	370	23.4	185	11.7
栄町３丁目	1,056	172	16.3	616	58.3	268	25.4	129	12.2
栄町４丁目	744	76	10.2	453	60.9	215	28.9	95	12.8
栄町５丁目	433	52	12.0	273	63.0	108	24.9	57	13.2
新町１丁目	2,295	300	13.1	1,497	65.2	498	21.7	242	10.5
新町２丁目	637	62	9.7	423	66.4	152	23.9	67	10.5
新町３丁目	1,606	172	10.7	1,070	66.6	364	22.7	154	9.6
新町４丁目	806	262	32.5	501	62.2	43	5.3	14	1.7
新町５丁目	581	168	28.9	381	65.6	32	5.5	11	1.9
神明１丁目*	765	104	13.6	562	73.5	100	13.1	37	4.8
神明２丁目	1,332	172	12.9	876	65.8	284	21.3	99	7.4
神明３丁目	1,359	194	14.3	937	68.9	228	16.8	88	6.5
神明４丁目*	881	122	13.8	612	69.5	148	16.8	61	6.9
多摩平７丁目	1,562	211	13.5	1,108	70.9	243	15.6	111	7.1
大坂上１丁目	883	78	8.8	589	66.7	216	24.5	117	13.3
大坂上２丁目	1,177	141	12.0	750	63.7	286	24.3	153	13.0
大坂上３丁目	1,651	180	10.9	982	59.5	489	29.6	255	15.4
大坂上４丁目	1,455	174	12.0	1,009	69.3	272	18.7	122	8.4
日野台１丁目	1,654	196	11.9	1,111	67.2	347	21.0	136	8.2
日野台２丁目	1,883	235	12.5	1,181	62.7	467	24.8	192	10.2
日野台３丁目	259	0	0.0	257	99.2	2	0.8	0	0.0
計	26,086	3,515	13.5	17,244	66.1	5,329	20.4	2,407	9.2

【　第二中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
多摩平２丁目	1,586	144	9.1	877	55.3	565	35.6	270	17.0
多摩平４丁目	2,514	294	11.7	1,253	49.8	967	38.5	650	25.9
多摩平５丁目	1,600	232	14.5	1,033	64.6	335	20.9	169	10.6
多摩平６丁目	2,548	330	13.0	1,602	62.9	616	24.2	337	13.2
大字豊田	121	26	21.5	63	52.1	32	26.4	10	8.3
東豊田１丁目*	920	151	16.4	572	62.2	197	21.4	85	9.2
東豊田２丁目	838	143	17.1	551	65.8	144	17.2	50	6.0
東豊田３丁目	2,155	242	11.2	1,379	64.0	534	24.8	206	9.6
東豊田４丁目	1,718	261	15.2	1,171	68.2	286	16.6	120	7.0
日野台４丁目	992	102	10.3	510	51.4	380	38.3	139	14.0
日野台５丁目	849	104	12.2	552	65.0	193	22.7	107	12.6
豊田１丁目	784	123	15.7	456	58.2	205	26.1	139	17.7
豊田２丁目	1,639	261	15.9	1,083	66.1	295	18.0	117	7.1
豊田３丁目	2,231	274	12.3	1,507	67.5	450	20.2	225	10.1
豊田４丁目	1,604	127	7.9	1,033	64.4	444	27.7	224	14.0
計	22,099	2,814	12.7	13,642	61.7	5,643	25.5	2,848	12.9

【　第四中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
旭が丘１丁目	2,852	350	12.3	1,996	70.0	506	17.7	226	7.9
旭が丘２丁目	2,964	395	13.3	1,928	65.0	641	21.6	296	10.0
旭が丘３丁目	1,174	204	17.4	827	70.4	143	12.2	52	4.4
旭が丘４丁目	1,719	262	15.2	1,203	70.0	254	14.8	112	6.5
旭が丘５丁目	1,673	244	14.6	1,110	66.3	319	19.1	121	7.2
旭が丘６丁目	1,364	185	13.6	952	69.8	227	16.6	99	7.3
西平山３丁目	650	83	12.8	418	64.3	149	22.9	55	8.5
西平山４丁目	469	55	11.7	288	61.4	126	26.9	50	10.7
西平山５丁目	3,147	437	13.9	1,954	62.1	756	24.0	382	12.1
多摩平１丁目	2,706	407	15.0	1,815	67.1	484	17.9	218	8.1
多摩平３丁目	2,320	287	12.4	1,497	64.5	536	23.1	309	13.3
東平山２丁目*	646	86	13.3	362	56.0	198	30.7	95	14.7
東平山３丁目	1,277	293	22.9	782	61.2	202	15.8	102	8.0
富士町	1,886	528	28.0	1,222	64.8	136	7.2	53	2.8
計	24,847	3,816	15.4	16,354	65.8	4,677	18.8	2,170	8.7

【　七生中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
大字川辺堀之内＊	613	75	12.2	402	65.6	137	22.3	49	8.0
東豊田１丁目＊	920	151	16.4	572	62.2	197	21.4	85	9.2
南平１丁目	2,409	323	13.4	1,470	61.0	616	25.6	309	12.8
南平２丁目	3,181	320	10.1	1,824	57.3	1,037	32.6	432	13.6
南平３丁目	1,256	179	14.3	872	69.4	205	16.3	91	7.2
南平４丁目	1,716	261	15.2	1,252	73.0	203	11.8	76	4.4
南平５丁目	2,869	303	10.6	1,787	62.3	779	27.2	380	13.2
南平６丁目	1,267	148	11.7	831	65.6	288	22.7	119	9.4
南平７丁目	1,195	168	14.1	814	68.1	213	17.8	73	6.1
南平８丁目	1,241	117	9.4	890	71.7	234	18.9	103	8.3
南平９丁目	1,249	106	8.5	675	54.0	468	37.5	223	17.9
計	17,916	2,151	12.0	11,389	63.6	4,377	24.4	1,940	10.8

【　平山中学校地区　】

町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
西平山１丁目	1,240	159	12.8	737	59.4	344	27.7	159	12.8
西平山２丁目	791	99	12.5	394	49.8	298	37.7	155	19.6
東平山１丁目	1,704	148	8.7	905	53.1	651	38.2	318	18.7
東平山２丁目＊	646	86	13.3	362	56.0	198	30.7	95	14.7
平山１丁目	541	69	12.8	263	48.6	209	38.6	97	17.9
平山２丁目	1,318	97	7.4	593	45.0	628	47.6	265	20.1
平山３丁目	1,704	163	9.6	913	53.6	628	36.9	301	17.7
平山４丁目	2,391	322	13.5	1,469	61.4	600	25.1	251	10.5
平山５丁目	1,233	148	12.0	866	70.2	219	17.8	99	8.0
平山６丁目	1,932	174	9.0	1,188	61.5	570	29.5	252	13.0
計	13,500	1,465	10.9	7,690	57.0	4,345	32.2	1,992	14.8

【　第三中学校地区　】

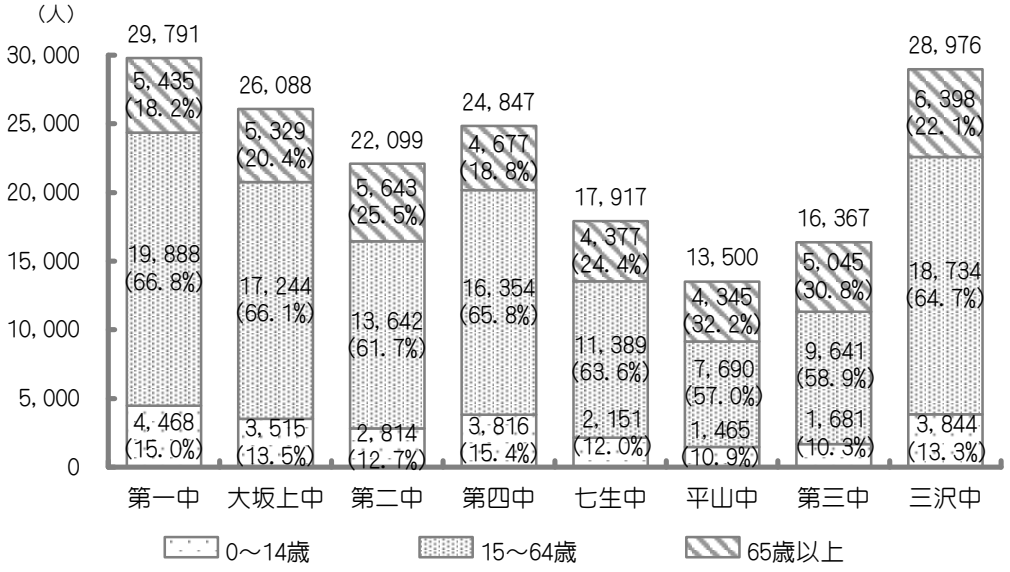
町名地番	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
三沢*	1, 434	171	11. 9	895	62. 4	368	25. 7	146	10. 2
三沢３丁目*	1, 019	122	12. 0	691	67. 8	206	20. 2	83	8. 1
三沢４丁目	1, 380	117	8. 5	782	56. 7	481	34. 9	243	17. 6
三沢５丁目	1, 217	127	10. 4	692	56. 9	398	32. 7	197	16. 2
程久保	2, 190	204	9. 3	1, 192	54. 4	794	36. 3	325	14. 8
程久保１丁目	947	79	8. 3	597	63. 0	271	28. 6	126	13. 3
程久保２丁目	977	87	8. 9	562	57. 5	328	33. 6	188	19. 2
程久保３丁目	1, 256	116	9. 2	725	57. 7	415	33. 0	191	15. 2
程久保４丁目	8	0	0. 0	2	25. 0	6	75. 0	5	62. 5
程久保５丁目	34	5	14. 7	27	79. 4	2	5. 9	0	0. 0
程久保６丁目	108	10	9. 3	82	75. 9	16	14. 8	11	10. 2
程久保７丁目	7	3	42. 9	4	57. 1	0	0. 0	0	0. 0
程久保８丁目	1, 569	172	11. 0	984	62. 7	413	26. 3	185	11. 8
百草*	4, 220	468	11. 1	2, 406	57. 0	1, 347	31. 9	596	14. 1
計	16, 366	1, 681	10. 3	9, 641	58. 9	5, 045	30. 8	2, 296	14. 0

【　三沢中学校地区　】

	全人口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上		75 歳以上	
		人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）	人口（人）	割合（%）
高幡	4, 289	592	13. 8	2, 945	68. 7	752	17. 5	386	9. 0
三沢*	1, 434	171	11. 9	895	62. 4	368	25. 7	146	10. 2
三沢１丁目	1, 176	110	9. 4	858	73. 0	208	17. 7	96	8. 2
三沢２丁目	2, 614	317	12. 1	1, 497	57. 3	800	30. 6	401	15. 3
三沢３丁目*	1, 019	122	12. 0	691	67. 8	206	20. 2	83	8. 1
石田１丁目	1, 065	190	17. 8	733	68. 8	142	13. 3	65	6. 1
石田２丁目	742	124	16. 7	516	69. 5	102	13. 7	57	7. 7
大字新井	3, 836	511	13. 3	2, 505	65. 3	820	21. 4	377	9. 8
大字石田*	744	144	19. 4	495	66. 5	105	14. 1	43	5. 8
百草*	4, 220	468	11. 1	2, 406	57. 0	1, 347	31. 9	596	14. 1
万願寺５丁目	828	130	15. 7	607	73. 3	91	11. 0	41	5. 0
万願寺６丁目*	1, 094	177	16. 2	722	66. 0	195	17. 8	79	7. 2
落川	5, 914	788	13. 3	3, 864	65. 3	1, 262	21. 3	586	9. 9
計	28, 975	3, 844	13. 3	18, 734	64. 7	6, 398	22. 1	2, 956	10. 2

資料：日野市市民窓口課

図表 2-10　地区別年齢別の人口＜中学校区別＞（平成 26 年１月１日現在）



（　）の数値は、地区全体の人口に対する割合です

図表 2-11　中学校区別人口の推移

単位：人

圏域名	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
第一中	29, 215	29, 710	28, 979	29, 487	29, 788
大坂上中	23, 829	25, 703	25, 323	25, 808	26, 086
第二中	20, 393	21, 189	20, 818	21, 361	22, 099
第四中	24, 081	24, 812	24, 490	24, 932	24, 847
七生中	17, 614	18, 226	17, 735	17, 879	17, 916
平山中	13, 655	13, 866	13, 508	13, 620	13, 500
第三中	15, 972	16, 867	16, 429	16, 565	16, 366
三沢中	28, 770	29, 469	28, 626	28, 614	28, 975

資料：日野市市民窓口課（各年 1 月 1 日現在）

④　介護保険認定者数の推移

介護保険認定者数は、年度によってばらつきがありますが、おおむね増加傾向です。また、要支援１・２にあたる方が多く、平成 25 年度末では全体の 39%を占めています。

図表 2-12　介護保険認定者数の推移

単位：人

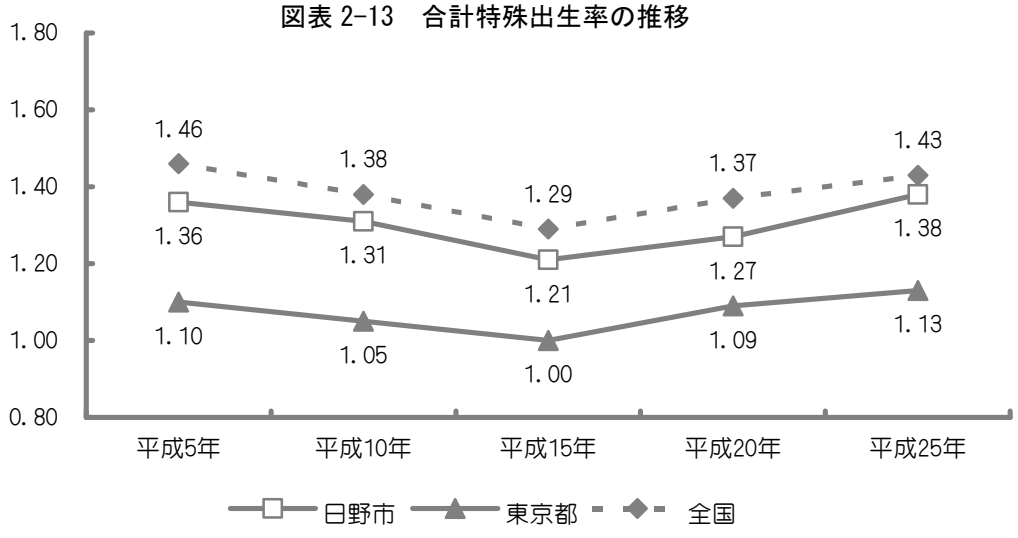
区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
要支援１	1,556	1,584	1,629	1,698
要支援２	1,146	1,153	1,082	1,168
要介護１	1,433	1,374	1,246	1,407
要介護２	1,250	790	974	893
要介護３	869	606	734	689
要介護４	661	607	661	635
要介護５	699	677	716	660
非該当	80	86	99	71
計	7,694	6,877	7,141	7,221

資料：日野市高齢福祉課（各年度末現在）

⑤　合計特殊出生率※の推移

合計特殊出生率は、平成 15 年まで減少していましたが、その後年々増加し、平成 25 年に 1.38 となっています。全国、東京都と比較すると、東京都より高く、全国よりやや低い値で推移しています。

図表 2-13　合計特殊出生率の推移



資料：人口動態統計（東京都福祉保健局）

⑥　障害者（児）の状況

障害別の手帳保持者数の状況は以下の通りです。

ア　身体障害者の状況（身体障害者手帳保持者数）

障害の程度が１級の方が最も多く、４級の方が続きます。全体に増加傾向です。

図表 2-14　等級別身体障害者手帳保持者数

単位：人

区分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
１級	実数	1, 367	1, 370	1, 403	1, 494
	うち 18 歳未満	53	52	59	78
２級	実数	773	790	783	886
	うち 18 歳未満	31	39	36	51
３級	実数	911	916	918	1, 147
	うち 18 歳未満	31	27	26	31
４級	実数	1, 112	1, 155	1, 169	1, 426
	うち 18 歳未満	11	13	15	23
５級	実数	239	253	254	319
	うち 18 歳未満	7	6	3	6
６級	実数	283	254	287	336
	うち 18 歳未満	7	7	6	13
合計	実数	4, 685	4, 738	4, 814	5, 608
	うち 18 歳未満	140	144	145	202

資料：日野市障害福祉課（各年度末現在）

イ　知的障害者の状況（愛の手帳保持者数）

最重度の方は少なく、障害の程度が軽度の方が最も多い状況です。全体に増加傾向です。

図表 2-15　程度別に見た愛の手帳保持者数

単位：人

区分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
１度（最重度）	実数	33	37	37	40
	うち 18 歳未満	9	7	7	8
２度（重度）	実数	224	248	264	257
	うち 18 歳未満	70	70	73	69
３度（中度）	実数	226	221	240	262
	うち 18 歳未満	66	61	70	78
４度（軽度）	実数	389	432	474	504
	うち 18 歳未満	142	163	178	183
合計	実数	872	938	1,015	1,063
	うち 18 歳未満	287	301	328	338

資料：日野市障害福祉課（各年度末現在）

ウ　精神障害者の状況

（精神障害者保健福祉手帳保持者・自立支援医療受給者証（精神通院）交付数）

自立支援医療（精神通院）は、精神疾患のため通院による治療を受ける場合の、医療費の継続的な負担の軽減を図る制度です。障害の程度が軽度の方に増加傾向がみられます。

図表 2-16　精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療受給者証（精神通院）交付数

単位：人

区分		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
等級	１級	42	36	34	40
	２級	239	258	228	279
	３級	135	157	155	201
	総数	416	451	417	520
自立支援医療受給者証（精神通院）交付数		2,572	2,764	2,892	2,845

資料：日野市障害福祉課（各年度末現在）

⑦　生活保護世帯、人員の推移

生活保護世帯数・人員及び保護率は増加傾向にあります。平成 26 年７月より、「生活保護法」の一部改正により、就労自立給付金が創設され就労による自立の促進が図られました。また、平成 27 年度より、「生活困窮者自立支援法」が施行され、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化が図られます。

図表 2-17　生活保護世帯、人員の推移

年	総数		被保護		保護率（千対）	
	世帯数（世帯）	人口（人）	世帯数（世帯）	人口（人）	世帯	人員
平成 22 年	82,079	182,140	1,320	1,819	16.1	10.0
平成 23 年	80,838	180,725	1,446	1,980	17.9	11.0
平成 24 年	81,477	181,125	1,522	2,074	18.7	11.5
平成 25 年	83,264	181,505	1,548	2,095	18.6	11.5

資料：日野市生活福祉課（各年７月１日現在）

⑧　福祉の市内相談窓口の状況

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターは９か所あります。障害者関係の相談窓口として、地域生活支援事業所が２か所、生活・就労支援事業所が１か所あります。また、子ども関係の総合相談窓口として、子ども家庭支援センターが３か所あり、子育て子育ち支援の中心となる基幹型児童館※が３か所、身近な地域の拠点としての地域型児童館※が７か所、その他子育てひろばがあります。発達やことばの不安に関する相談窓口として、エール（日野市発達・教育支援センター）も平成 26 年４月に開設しています。福祉の総合相談窓口としては、市役所内にセーフティネットコールセンターがあります。

図表 2-18　福祉の相談窓口の状況

施設名				住所
高齢者	地域包括支援センター	1	地域包括支援センター　せせらぎ	日野本町 6-3-17
		2	地域包括支援センター　すてっぷ	豊田 3-1-8　ﾌﾟﾚｼｽ豊田１階
		3	地域包括支援センター いきいきタウン	東平山 3-1-1
		4	地域包括支援センター　もぐさ	落川 1070
		5	地域包括支援センター　あいりん	多摩平 6-31-7
		6	地域包括支援センター　多摩川苑	万願寺 1-16-1
		7	地域包括支援センター　すずらん	南平 7-19-13
		8	地域包括支援センター　かわきた	西平山 1-12-1
		9	地域包括支援センター　あさかわ	高幡 864-4

施設名				住所
障害者	地域生活支援事業所	1	地域活動支援センター　やまばと	旭が丘 2-42
		2	地域生活支援センター　ゆうき	高幡 864-15
	生活・就労支援事業所	1	（平成 26 年度まで） 障害者生活・就労支援センター くらしごと	平山 2-1-1　平山台健康・市民支援センター1 階
			（平成 27 年度より） 障害者生活・就労支援事業所 くらしごと	多摩平 2-5-1
子ども	子ども家庭支援センター	1	子ども家庭支援センター（本部）	高幡 1009-4　京王アンフィール高幡３階
		2	地域子ども家庭支援センター 万願寺	万願寺 2-24-7　万願寺タウンビル２階
		3	地域子ども家庭支援センター 多摩平	多摩平 2-9　多摩平の森ふれあい館２階
	基幹型児童館	1	あそビバれっど あさひがおか児童館	旭が丘 2-42-5
		2	あそビバぶる～ さかえまち児童館	栄町 2-13-4
		3	あそビバいえろ～ ひらやま児童館	平山 3-26-3
	地域型児童館	1	もぐさだい児童館	百草 999
		2	ひの児童館	日野本町 7-5-23
		3	みさわ児童館	三沢 217-1
		4	しんめい児童館	神明 3-10-4
		5	まんがんじ児童館	万願寺 4-20-12
		6	たまだいら児童館　ふれっしゅ	多摩平 2-9
		7	みなみだいら児童館　ぷらねっと	南平 6-12-113
	子育てひろば	1	みんなのはらっぱ（万願寺交流センター）	万願寺 4-20-12
		2	みんなのはらっぱ （南平駅西交流センター）	平山 4-18-1 都営平山 4 丁目ﾊﾟｰﾄ 6 号棟 1 階
		3	あかいやね	程久保 876-2
		4	ぽっかぽか	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館２階
		5	至誠スマイル	日野 1183-3 至誠第二保育園
		6	子育てカフェ「モグモグ」	落川 458
		7	吹上保育園	東豊田 3-12-7
		8	地域子ども家庭支援センター （全２館）	
		9	基幹型児童館（全３館）	
		10	公立保育園（全 11 園）	
	発達・教育支援センター	1	エール（発達・教育支援センター）	旭が丘 2-42-8
総合	セーフティネットコールセンター	1	セーフティネットコールセンター	市役所内

（2）日野市における地域活動の状況

①　自治会の状況

加入率は減少傾向にあり、平成 25 年度には 50%を下回りました。地域によっては、加入率が高い地域もあり、回覧板などによる情報は回りますが、加入率が高い地域がすべて活発な地域活動を行っているとは言えません。

図表 2-19　自治会数と加入率の推移

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
自治会数	249	249	242	239	241
加入率	51.41%	50.74%	50.66%	49.76%	49.00%

資料：日野市地域協働課（各年度 4 月 1 日現在）

②　老人クラブの状況

老人クラブは、健康で生きがいのある暮らしに向けた各種地域活動を通した仲間づくりなどを推進しています。近年の高齢者人口の増加に見合う会員増は見られません。

図表 2-20　老人クラブ数・会員数の推移

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
クラブ数	53	52	52	50	50
会員数	4,280 人	4,156 人	4,232 人	4,129 人	4,039 人

資料：日野市高齢福祉課（各年度 4 月 1 日現在）

③　民生委員児童委員の状況

民生委員児童委員は、福祉サービス、介護保険関連相談、生活相談や地域での高齢者等の見守り活動等、地域福祉の推進の中心的役割を担っています。しかし、一部の地区で欠員が生じており、人材確保が課題となっています。

図表 2-21　民生委員児童委員の状況

区分	平成 26 年 4 月 1 日現在
地区民生委員児童委員協議会数	5 地区
区域担当民生委員児童委員数（定数）	115 人（124 人）、欠員 9 人
主任児童委員（定数）	10 人（10 人）

資料：日野市福祉政策課

④　ボランティア活動の状況

日野市社会福祉協議会が運営する日野市ボランティア・センターでは、活動を希望する方・ボランティアを依頼する方（ニード受付）のコーディネートを行っています。

図表 2-22　ボランティア活動者・協力者数、コーディネート結果

登録者数		活動希望	ニード受付	コーディネート成立
個人	団体			
366 人	53 団体	95 件	341 件	189 件

資料：日野市社会福祉協議会「平成 25 年度事業報告」

⑤　ＮＰＯ※法人※の状況

ひの市民活動団体連絡会に登録されている団体は、平成 26 年４月１日現在で 36 団体です。うち、「高齢・障がい福祉分野」が 11 団体、「子ども・子育て支援分野」が７団体です。ひの市民活動団体連絡会は、市民活動を発展させ協力しあいながら市民がいきいきとする社会の実現をめざし、団体相互の交流と連携の支援をしています。

⑥　交流センター、地区センター、福祉センター等の状況

交流センターは８か所あり、市民相互の交流を通してコミュニティの形成を促進し、市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、文化・スポーツ及びレクリエーションの振興を図るために設置しているものです。

地区センターは 65 か所あり、地域住民のコミュニティ活動や文化活動の拠点として設置しており、自治会活動やサークル活動などに活用されています。

その他、高齢者がいつでもくつろぎ、交流できるための福祉センターが４か所、福祉や健康等に関する事業などを行う福祉支援センターが１か所あります。

図表 2-23　交流センター、地区センター、福祉センター等の状況

平成 26 年 4 月 1 日現在

施設名			住所
交流センター	1	豊田駅北交流センター	多摩平 1-14-95
	2	南平駅西交流センター	平山 4-18-1
	3	東町交流センター	日野 1241-1
	4	多摩平交流センター	多摩平 2-9
	5	落川交流センター	落川 1400

施設名			住所
交流センター	6	新町交流センター	新町 1-13
	7	万願寺交流センター	万願寺 4-20-12
	8	平山交流センター	平山 5-18-2
地区センター	1	旭が丘地区センター	旭が丘 5-1-1
	2	旭が丘東地区センター	旭が丘 2-14-2
	3	旭が丘南地区センター	旭が丘 1-20-1
	4	新井地区センター	石田 2-4-6
	5	新井わかたけ地区センター	石田 270
	6	梅が丘地区センター	三沢 3-35-2
	7	大久保地区センター	大坂上 4-10-2
	8	大坂西地区センター	大坂上 1-17-10
	9	大和田地区センター	西平山 5-41-14
	10	落川地区センター	落川 237-4
	11	落川都営住宅地区センター	落川 819
	12	鹿島台地区センター	南平 1-28-13
	13	金子橋地区センター	日野本町 2-10-21
	14	上田地区センター	川辺堀之内 190 地先
	15	川北地区センター	西平山 1-23-4
	16	栄町二丁目地区センター	栄町 2-13-4
	17	下田地区センター	万願寺 2-9-1
	18	下町下河原地区センター	日野 579-2
	19	新川辺地区センター	南平 5-30-1
	20	新東光寺地区センター	栄町 3-14-1
	21	神明橋地区センター	神明 3-10-4
	22	第一日野万地区センター	万願寺 3-39-25
	23	第二日野万地区センター	日野 7773-509
	24	第二武蔵野台地区センター	程久保 2-7-2
	25	高幡地区センター	高幡 352
	26	高幡市営住宅地区センター	高幡 864-11
	27	滝合地区センター	西平山 2-4-17
	28	田中地区センター	南平 8-19-6
	29	多摩平一丁目地区センター	多摩平 1-14-95
	30	多摩平三丁目地区センター	多摩平 3-29
	31	多摩平中央公園地区センター	多摩平 4-2
	32	多摩平東地区センター	多摩平 7-5-12
	33	多摩平六丁目地区センター	多摩平 6-8-16
	34	東光寺地区センター	栄町 5-16-9
	35	東光寺東地区センター	栄町 4-13-27

施設名			住所
地区センター	36	豊田地区センター	豊田 3-31-1
	37	豊田下地区センター	豊田 1-25-1
	38	七生台地区センター	平山 3-26-3
	39	西ヶ丘地区センター	新町 2-13-27
	40	西平山地区センター	西平山 5-3-11
	41	東神明地区センター	神明 2-13-1
	42	東宮下地区センター	東平山 3-11-20
	43	日野台地区センター	日野台 4-17^
	44	日野台一丁目地区センター	日野台 1-1-40
	45	日野台二丁目地区センター	日野台 2-19-14
	46	平山苑地区センター	平山 6-18-2
	47	吹上地区センター	東豊田 3-18-3
	48	程久保地区センター	程久保 8-20-4
	49	万願荘地区センター	日野 844-7
	50	三沢地区センター	三沢 3-46-2
	51	三沢台地区センター	三沢 2-25-1
	52	三沢西地区センター	三沢 4-11-7
	53	三沢東地区センター	三沢 1-17-2
	54	みなみが丘地区センター	南平 2-21-8
	55	南平地区センター	南平 4-8-6
	56	南平西部地区センター	南平 6-12-113
	57	南平南部地区センター	南平 9-24-16
	58	南平東地区センター	三沢 5-47-14
	59	南百草地区センター	百草 819-44
	60	見晴らし台地区センター	南平 8-11-47
	61	宮地区センター	宮 323-1
	62	宮南部地区センター	万願寺 6-7-1
	63	百草地区センター	百草 511-4
	64	谷仲山地区センター	神明 4-11-2
	65	四ツ谷地区センター	栄町 1-41-11
福祉センター等	1	中央福祉センター	日野本町 7-5-23
	2	高幡福祉センター	高幡 864-4
	3	湯沢福祉センター	程久保 873
	4	七生福祉センター	三沢 3-50-1
	5	福祉支援センター	高幡 1011

⑦　小学校統廃合跡地の活用

小学校統廃合による跡地を、地域コミュニティ活動の活性化及び促進を図るとともに、市民の健康維持増進、文化・教養活動及びスポーツ活動等の振興を図るために活用しています。

〇旧平山台小学校跡地　⇒　平山台健康・市民支援センター

- 集会室
- 体育館及び運動場
- 障害児放課後クラブ、
- 障害者生活・就労支援センター『くらしごと』
  （平成 27 年度より多摩平へ移転）
- 平山台文化スポーツクラブ事務局
- 日野団塊世代広場事務所（平山台ひろば）
- 社会福祉法人 栄光会 栄光平山台保育園
- ベーカリー・カフェやまぼうし平山台

〇旧百草台小学校跡地　⇒　百草台コミュニティセンター

- 集会室
- フリースペース
- 体育館及び運動場
- 保護司会（サポートセンター百草台）
- いのちのミュージアム

⑧　ミニミニふれあいのつどい支援団体の活動

本市及び日野市社会福祉協議会では、隣近所での「心の通う仲間づくり」を通した地域に根ざしたコミュニティサロンとして、ふれあいサロン※づくりを進めています。また、本市では、高齢者が誰でもふらっと立ち寄れる場所として「ふれあい交流型」の立ち上げ・支援を行っています。第２期計画策定時の 28 サロンから、33 サロンへ増加しています。

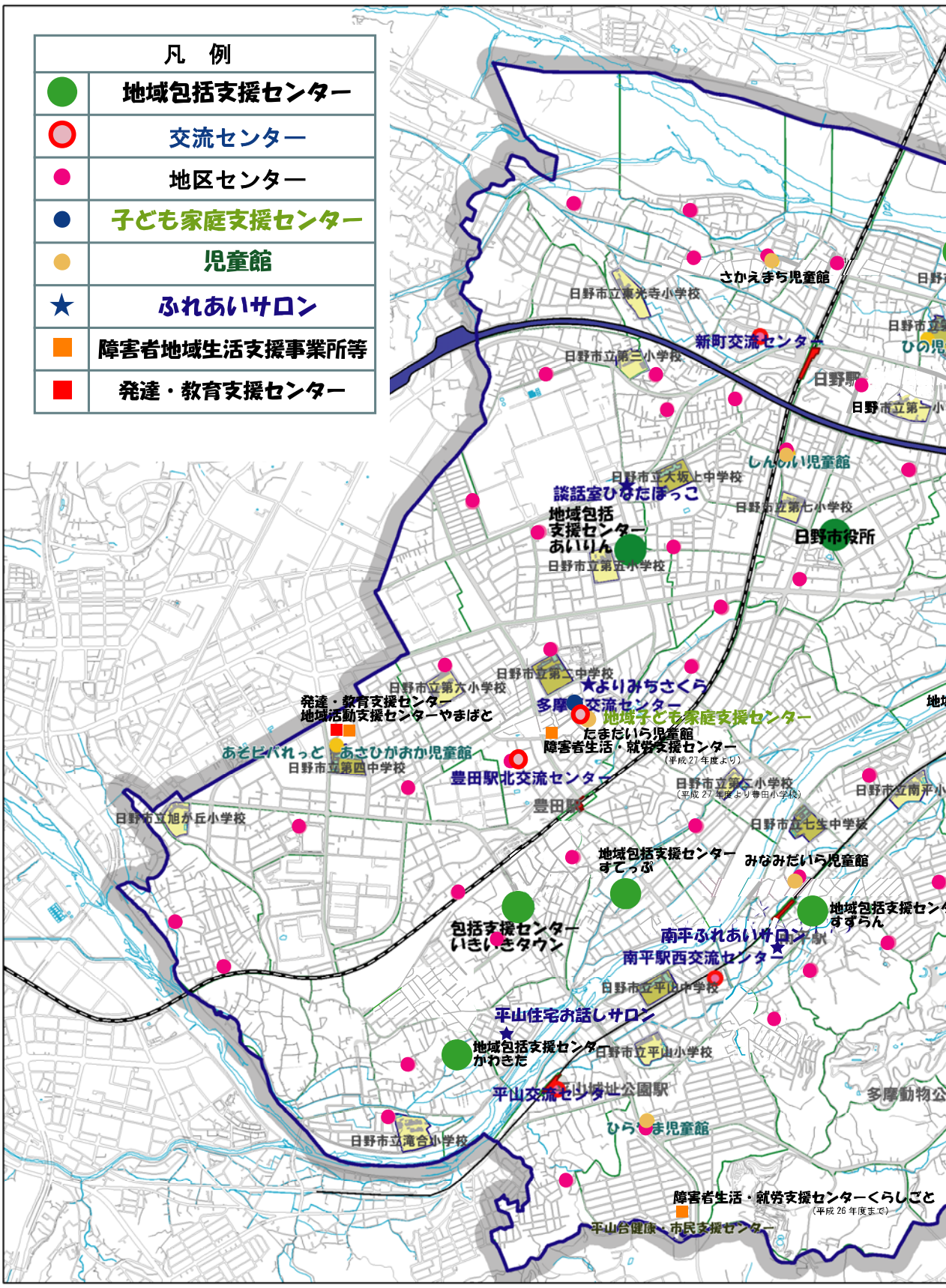
図表 2-24　市内ふれあいサロンの状況

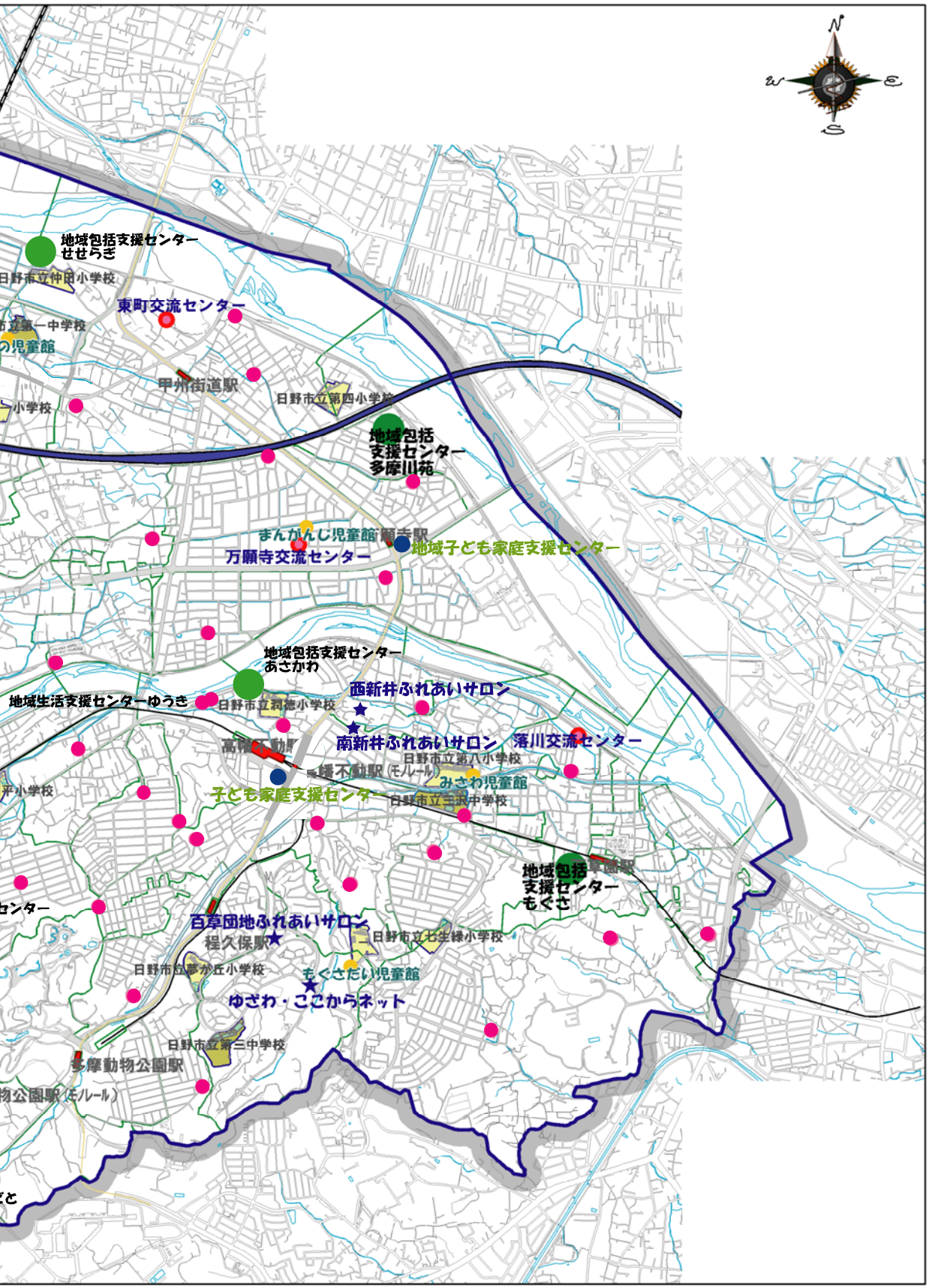
団体名		主たる活動	主たる活動拠点
1	エプロン・ママ	子育てサークル支援	各子ども家庭支援センター 各地区センター、各児童館
2	子育て支援グループ 「かるがも」	小さな子供のいる親子が参加できるレク、野外レク等	西平山地区センター、 友遊ケアセンター
3	にほんご　あいあい	いろいろな国の親子による日本語での交流	子ども家庭支援センター
4	日野国際友好クラブ	ＢＢＱ、イヤーエンドパーティー等	中央福祉センターなど
5	プリズムクラブ	大学生とクッキングやイベント等	中央公民館など
6	つくしの会	バスハイク、食事会	生活・保健センター
7	ひの子ども支援塾	子ども学習支援と相談	愛隣舎ホール、RAMO２F
8	グループはらっぱの会	食事作りと食事会	多摩平の森ふれあい館
9	この葉グループ	食事会等	大久保地区センター
10	青春グループ	茶話会、食事会	シティハイツ旭が丘４号棟 集会室１Ｆ
11	なごみ会	茶話会	ツヅラハウス
12	日野台さわやか会	茶話会、食事会	日野台地区センター
13	ホットやすらぎ会	食事会	日野台二丁目地区センター
14	大坂上百合の木会	手芸、食事会	都営日野大坂上三丁目アパート集会所、団欒室
15	栄町ふれあいグループ	茶話会	新東光寺地区センター 都営落川自治会集会所
16	南新井ふれあいサロン	手芸、映画会などのイベント	南新井ふれあいサロン
17	元気印健康クラブ	体操、歌声、茶話会	都営多摩平４丁目アパート 集会室
18	アンサンブル＊レェヴ	プロによるミニコンサートとみんなで歌う２部形式のコンサート	市民会館小ホール
19	やよい会	食事会	仲町自治会館
20	ボランティアグループ かたつむり	フリースペース	湯沢福祉センター内「ゆざわ・ここからネット」多目的室
21	歌で楽しむ元気会	音楽療法	七生福祉センター 都営落川集会所
22	東京・多摩「大人の発達障害」当事者会	フリースペース	中央福祉センター

団体名		主たる活動	主たる活動拠点
23	緑を愛する会日野	自然体験	仲田の森など
24	日野囲碁さわやか会	囲碁（初心者）を通じての交流	中央公民館
25	さざんかの会	茶話会	宮地区センター
26	ふれあいサロン縁がわ	茶話会	水と緑の体験施設
27	百草団地ふれあいサロン	サロン（常設）	百草団地内
28	よりみちさくら	サロン（常設）	多摩平の森さくら集会所
29	南平ふれあいサロン	サロン（常設）	南平 7-16-14
30	南新井ふれあいサロン	サロン（常設）	新井 650－2
31	ひなたぼっこ	サロン（常設）	大坂上 4-20-18
32	平山住宅お話しサロン	サロン	平山住宅 9 号棟 1 階
33	ゆざわ・ここからネット	サロン（常設）	湯沢福祉センター

資料：日野市高齢福祉課、日野市社会福祉協議会（平成 26 年 4 月 1 日現在）

図表 2-25　福祉の相談窓口、交流センター、地区センター、ふれあいサロン等の配置状況




地域包括支援センター
せせらぎ
日野市立仲田小学校
東町交流センター
甲州街道駅
日野市立第四小学校
地域包括
支援センター
多摩川苑
まんがんじ児童館
万願寺交流センター
地域子ども家庭支援センター
地域包括支援センター
あさかわ
地域生活支援センターゆうき
日野市立潤徳小学校
西新井ふれあいサロン
南新井ふれあいサロン
落川交流センター
日野市立第八小学校
子ども家庭支援センター
みさわ児童館
日野市立三沢中学校
地域包括
支援センター
もぐさ
百草団地ふれあいサロン
程久保駅
日野市立七生緑小学校
日野市立夢が丘小学校
もぐさだい児童館
ゆさわ・ここからネット
日野市立第三中学校
多摩動物公園駅
N
W
E
S

2　第２期地域福祉計画の評価・検証

第２期計画の基本目標を実現するための具体的な方策として定めた３つのアクションプラン※（モデル事業として実施）について、評価・検証し、課題を整理しました。

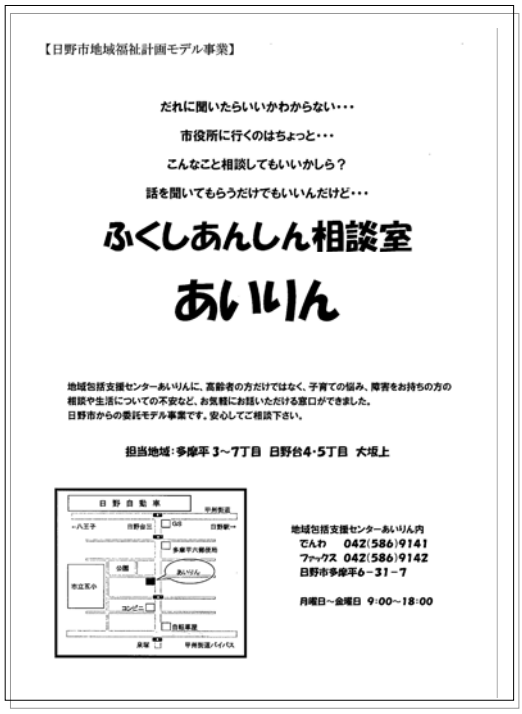
（１）地域福祉セーフティネット※プログラム〈初期総合相談窓口〉	
①　実施内容	地域の中に福祉の身近な相談窓口が必要なのではないかと考え、市内の全地域包括支援センターに〈初期総合相談窓口〉の設置が可能か検証するためのモデル事業を実施。モデル地区として、地域包括支援センターあいりん担当地区を設定し、平成 22 年 10 月～平成 27 年 3 月の期間、地域包括支援センターあいりんに〈初期総合相談窓口〉を設置しました。
②　状況	平成 22 年 10 月開設より、延べ 3，000 件以上の相談対応を行いました。障害分野に関わる相談件数が多く、複合的な問題を抱えた家族の困難さが見られました。また、最初の相談は、本人からよりも、民生委員児童委員や家族の支援のために関わった事業所などから入ることがほとんどでした。単なる関連機関への振り分けのみではなく、相談に対応するためのスキルの必要性を確認しました。
③　効果	・相談先が明確でない問題や多問題世帯への相談対応ができるようになりました。 ・地域住民や関係機関が地域で気になる方や世帯について相談できるようになりました。 ・福祉制度の利用が必要と思われるにもかかわらず、自ら利用申請してこない方など、潜在的ニーズへの働きかけや継続的な支援ができるようになりました。 ・地域福祉の担い手である民生委員児童委員の相談を支援する役割も果たすようになりました。
④　課題	・支援につなげるためには、庁内担当部局や福祉関係機関との顔の見える関係づくりを深め、連携を強化することが必要である。 ・多問題世帯に対応するためには、全体を統括する専門職の位置づけが必要である。 ・庁内で福祉の総合相談事業を実施しているセーフティネットコールセンターとの役割分担を明確にすることが必要である。 ・市民への事業の周知が必要である。 ・相談対応のスキルや財政状況を考慮し、全地域包括支援センターへの設置は再検討の必要がある。

（２）地域福祉いきいき活動プログラム（交流ひろば立ち上げ支援）	
① 実施内容	地域の中で顔の見える関係づくりをつくるために、〈交流ひろば〉が有効と考え、モデル地区として、多摩平四丁目を設定し、日野市社会福祉協議会の地区担当職員による立ち上げ支援及び活動のコーディネートを実施しました。
② 状況	モデル地区において、日野市社会福祉協議会の地域担当職員が、住民の自主性を尊重しながら「交流ひろば」の立ち上げを支援しました。 また、継続的な活動や新たな団体の立ち上げ等を支援することを目的に、交流ひろば運営に必要な取組等について情報交換する場として、サロン活動を実施している各団体の交流会を開催しました。
③ 効果	・体操教室参加アンケートからは、「友だちが増えた」「体調がよくなった」「気分転換ができた」など高評価を受けており、地域での支え合いのきっかけができました。 ・日野市社会福祉協議会の地域担当が立ち上げ支援に携わるなかで、住民との顔の見える関係を築くことができました。また、地域担当配置の必要性が確認されました。 ・各運営団体がお互いの活動内容や課題等を情報交換する場を求めていることが確認できました。
④ 課題	・活動を継続するために、定期的なイベントなどの仕掛けや工夫が必要である。 ・活動の担い手となる人材の発掘、育成が重要である。（学生やボランティア・センターとの連携） ・定期的な活動を行っている運営団体同士の情報交換会の創設が必要である。 ・日野市社会福祉協議会地域担当のあり方について検討が必要である。

多摩平四丁目 交流ひろば

（３）情報発信プログラム	
①　実施内容	まず地域包括支援センターを情報発信拠点と位置付け、それ自体の認知度を高めるため、市民が日常的に訪れる場所へのパンフレットやチラシの設置を実施しました。
②　状況	市内金融機関及びスーパー等に「日野市地域包括支援センター」を周知するポスター掲示及びパンフレット設置等への協力についてアンケートを実施（59 か所）。協力可能との回答をいただいた事業所を訪問し、掲示・設置の依頼を行いました（20 か所）。
③　効果	・多くの市民が日常生活の中で利用したり、立ち寄ったりする場所を、情報発信の拠点のひとつと位置づけられる可能性が広がりました。 ・地域包括支援センターのパンフレットの配置も行えるようになりました。 ・今後、各種見守り事業等、福祉分野での金融機関やスーパー等との連携が期待できます。
④　課題	・長期間のポスター掲示が難しい。（継続的な協力の確保が必要である。） ・協力機関の業種に偏りがあるため、それらの解消が必要である。 ・ポスター、パンフレットに記載の情報の更新が必要である。

地域包括支援センター パンフレット



初期総合相談窓口 ちらし

3 福祉関係団体ヒアリング等からの問題点・課題の整理

日野市内にある地域包括支援センター９か所、社会福祉協議会、子ども家庭支援センター、基幹型児童館３か所、障害者関係施設３か所、ふれあいサロン２か所、発達・教育支援センター、NPO 法人２か所にヒアリング調査、民生委員児童委員にアンケート調査を行い、実態を把握し課題を整理しました。

	主な意見
日野市の地域特性	・独居高齢者や高齢者世帯が増えている。 ・昔から住んでいる人が多い地区と、新しい人が多い地区が混在している地域もある。 ・全体に高齢化率は年々上昇しているが、若年層が増加している地域もある。 ・地域のつながりの希薄化を感じる。 ・家族機能の脆弱化を感じる。 ・3.11 の影響から、防災への関心が高まった。 ・戸建ての空き家が増加している地域がある。 ・昭和 40 年代に開発された丘陵地の団地では空き部屋が増えている。
地域情報の把握方法	・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所※、地域生活支援センター※・地域活動支援センター※などの関係機関からの情報 ・民生委員児童委員、見守り推進員※、老人会、サロン、自治会長などの、地域で活躍している人からの情報 ・近隣住民からの情報
地域課題（住民からの困りごと）	**【　子ども　】** ・子どもへの虐待 ・児童虐待についての正しい理解ができていない。（身体に暴力を加えなければ虐待ではない、など） ・発達障害のある子どもが学校でいじめられ、不登校になったケースがある。 ・子育て中の親の悩み相談ができるところが必要である。 ・障害をもつ子どもの居場所がない。 ・居場所のない子どもがいる。（毎日のように長時間児童館にいるなど） **【　高齢者の介護等　】** ・高齢化が進み、日々相談は増加している。 ・支援が必要に見えるが、本人が他人に世話になりたくないと思っている高齢者が多く、入り込めないケースがある。 ・老老介護が増えてきており、介護者の負担が大きくなってきている。 ・認知症高齢者の介護に関わる問題が増えてきている。 ・通院時などへの付き添いが必要である。（介護保険では病院内の付添いは対象外になる） ・高齢者の経済的な問題がある。

	主な意見
	【　孤独死・孤立死　】 ・配食サービス時に、室内で倒れているケースを複数回発見した。 ・支援を拒否している人への孤立死への対応が必要である。 ・マンション生活が多くなってきているため、隣との関係が希薄化している。 ・家族・親族がいても遠方のため、いざという時は近隣の方が頼りである。 【　生活費　】 ・生活困窮者からの相談が増加している。 ・生活保護や年金申請、後見人制度につなげるなどの相談が増えてきている。 ・高齢者以外でも、就労困難や就労維持が困難などにより、収入が不足しているケースがある。 ・高齢者で施設へ入所をしたくても、お金がなく入所できないケースがある。 ・持家があっても、現金収入が年金のみなどで生活費に困っているケースがある。 ・資産があっても、お金の使い方に問題があり、生活に困っているケースがある。 【　買い物困難　】 ・身体機能低下により、外出が困難となり、買い物ができない。 ・買い物した後の荷物運搬が大変である。 ・宅配を利用する方もいるが、自分で直接見て選びたいという方も多い。 ・公共交通の便が良くないため、タクシーを利用せざるを得ないことがある。 ・丘陵地では移動が困難なため、かなり高齢になっても自家用車の運転を続ける方がいる。 【　近隣とのトラブル　】 ・精神障害のある人と地域でのトラブルがある。 ・ゴミ屋敷状態となっている家がある。（火事や悪臭の問題など） 【　その他　】 ・精神障害のある人や発達障害のある人の居場所が足りない。 ・高齢者の親と精神疾患もしくはボーダーの子どもがいる家族が多くなっている（全国的な問題）。 ・精神疾患が疑われるが、家族で抱え込むなどで未受診のケースが多くみられる。
日野市で不足している点	【　相談窓口　】 ・自分のところに来て話を聞いてくれるアウトリーチ型の相談窓口や、入りやすく話しやすい相談窓口が求められている。 ・相談窓口について、市民への周知がされていないのではないか。 ・各相談窓口同士の連携が図れていない。 ・40 代～65 歳未満の相談窓口が少ない。 ・高次脳機能障害者とその家族などの専門的な相談窓口がない。 ・相談員の人数不足、育成不足。 ・相談を受けた後のつなぎ先がないケースがある。 【　支援等の情報　】 ・一般市民に支援そのものの周知がされていない。知る機会が少ないのではないか。 ・あらゆる支援機関のリストなどがあるとよい。 ・地域包括支援センターの周知がまだ徹底されていない。 ・個人情報保護の関係で、支援の必要な人の情報が回ってこない。

	主な意見
	【　関係機関との連携　】 ・知り得た情報をつなげる機関が必要である。 ・市立病院、医療機関との連携は不十分である。 ・行政の縦割り組織による使いにくさ。 ・多問題家族について、関係機関が連携して支援にあたる必要があるが、とりまとめる部署がない。 **【　地域の中での連携　】** ・地域により、住民同士の関係が希薄化してきている。（地域により関わりに格差がある。） ・自治会内での支え合いが不足している。 ・自治会などの役員の担い手がいない。交流が閉ざされてきている。 ・災害時に指導者（指示者）になりえる人がいない。 **【　近隣の助け合い　】** ・特に団地では、隣に住んでいる人が分からないということが多い。行政ではできない部分も多いため、ある程度は近隣の助け合いが必要である。 ・自治会の活性化が必要である。（顔の見える近所づきあいが必要。） ・新聞がたまっているなどの情報を、関係機関に連絡してくれるだけでも役に立つ。 **【　その他　】** ・それぞれの機関が相談や支援、見守り等の活動をしているが、これがスムーズに連携できるためには、コーディネートする役割機能が必要である。 ・日野市の地域福祉活動の PR が足りない。 ・災害発生時に安否確認を行う必要のある人について、個人情報保護制度に阻まれ、情報が得られない。緊急時には情報を開示し、関係者が連携して効率よく安否確認できる仕組みを早急に作る必要がある。 ・介護予防教室などへの参加をすすめたいが、交通の便の悪い人に対しての送迎システムが必要である。 ・在宅生活を送る認知症高齢者や親なき障害者の数が増えてきていることから、市民後見人が活動できるための養成や後見監督の体制が必要である。
地域福祉を推進していくためのアイディア	・気軽に相談できる場所があるとよい。相談だけでなく、次の一歩に踏み出せるための選択可能な情報があるとよい。 ・福祉の総合相談の拠点の整備と市民への周知。 ・地域で地域課題を掘り起こすための場、地域ミーティングの開催。 ・関係する人たちが互いの顔を知っていることが重要である。 ・子どもと高齢者が一緒に関わる機会があるといい。 ・団塊の世代の特に男性について、地域デビューの講座を設けるなどして、地域の中で孤立しないようにする。 ・現行の地域サポーターの活動を部割ではなく、児童館・幼稚園・保育園・図書館等の出先機関は、その該当地域でのサポートを行う。（地域には、どのような公的施設が設置されているのか、またその施設職員の顔を知り得ることが一番地域に密着していると考えられるから） ・コミュニティソーシャルワーカー※などと一緒に活動できる基盤組織づくり。 ・障害の特性に応じて効果的な、成果の出る就労支援の在り方を検討する。 ・高齢者が気軽に集まれる場所が必要（サロンなど）。 ・小中学校の調理室を活用して、ボランティア有志の地域高齢者で、食事の準備をし、地域の高齢者を招いて食事会を開催するなど、高齢者の見守りを行っていく。

４　地域福祉に関する日野市の重点課題

第２期計画の評価・検証及び福祉関係団体へのヒアリング・民生委員児童委員へのアンケート調査や策定委員会等の意見を通して、本市における福祉分野の課題を抽出してきました。

様々な課題がある中で、分野別の課題については、個別５計画で取り上げていくこととします。

本計画では、分野を超えて横断的に取り組まなければならない問題や地域とともに解決しなければならない問題等を取り上げ、次のように重点課題を整理しました。

（１）初期総合相談窓口機能の強化 と 連携した対応の必要性

第２期計画のモデル事業として行った〈初期総合相談窓口〉は、モデル地区を設定（地域包括支援センターあいりん担当地区）して行いましたが、市内全域の福祉関係機関からの相談が多く入りました。そして、分野にまたがる様々な問題を複数抱えた個人及び家族に対応してきました。

相談先や支援方法が明確な問題ではない場合、どうしたらいいかわからないままに状況を悪化させてしまいがちです。「どこに相談すればいいか困った時はここに相談すればいい」という初期総合相談窓口は必要であり、状況が悪化する前の予防にもつながります。初期総合相談窓口機能を強化することと、周知することが必要です。また、モデル事業実施により、受けた相談を支援につなぐためには、関連部署・機関が連携した対応を行っていくことが欠かせず、庁内関係部署や福祉関連機関との顔の見える関係づくりを深め、連携を強化していくことが必要であることが再認識されました。

（２）生活困窮者の支援

生活費に関する相談が多くあります。生活保護制度がありますが、現金給付では根本的な問題が解決しない場合もあります。就労継続が困難な方や資産があっても適正な管理ができないなど、生活の困窮には様々な理由があります。〈初期総合相談窓口〉が対応してきたような、分野にまたがる様々な問題を複数抱えたケースもあるでしょう。子どもがいる世帯では、次世代へ影響が及ばないよう早めの対応が必要です。

平成 27 年４月に「生活困窮者自立支援法」が施行され、生活困窮者の多様で複合的な問題への包括的な総合支援として、〈自立相談支援事業〉が実施されます。〈初期総合相談窓口〉のモデル事業の検証を踏まえ、そこで対応してきた問題との整理をしていく必要があります。

（３）情報提供の工夫

福祉の制度やサービスは多岐にわたっています。それらが市民の役に立つためには、様々な情報の中から必要な情報にたどりつくことができるよう、情報提供の方法に工夫が必要です。

第２期計画のモデル事業として行った〈情報発信プログラム〉では、情報発信拠点として地域包括支援センターや〈初期総合相談窓口〉を位置づけ、まずそれ自体の認知度の向上を図るため、市民が日常的に訪れる銀行・郵便局・スーパー等に各々のパンフレット設置やポスター掲示を依頼しました。

平成 26 年７月からは、「広報ひの」が全戸配布となり、市全体として情報提供の充実に取り組んでいます。情報受信が困難な方への発信方法も含め、必要な人が必要な情報を得られるよう、さらに情報提供の方法を工夫し試行していく必要があります。

（４）孤独死・孤立死への対策
（地域の中での見守り支援協力体制の向上）

平成 24 年に孤独死・孤立死の報道が相次ぎ、全国的に社会的孤立が問題となりました。家族や友人がいる場合でも、遠方であれば急変時に気付いて駆けつけることは困難です。

本市においては、〈高齢者見守り支援ネットワーク〉等の見守り体制がありますが、地域の中の助け合いをさらに強化していくことが必要です。見守り機会の拡大及び高齢者に限定しない見守りのため、電気・水道等のライフライン事業者等とも協力関係を強めることも必要です。

地域の中の助け合いの必要性については、福祉関係団体へのヒアリング、民生委員児童委員へのアンケート及び策定委員会での意見でも多く上げられました。

災害時の助け合いも課題です。「災害対策基本法（平成 25 年６月改正）」において、市町村が避難行動要支援者の名簿を作成することが義務付けられました。本市では、市が把握している避難行動要支援者情報を基に、外部提供についての本人の同意を取り、地域における防災の取り組みに活用できるようすすめているところです。

（５）エリアごとのネットワークの仕組みづくりの推進

第１期計画から、地域福祉の活動単位としてのエリア設定が課題になっていました。各エリアの特性を踏まえ、様々に異なる課題を解決するために、エリアごとのネットワークの仕組みづくりを推進していくことが必要です。

平成 26 年度からは、中学校区ごとに行う〈地域懇談会〉を通じ、地域の中で様々な活動を行っている様々な人たちの顔が見える関係づくりが始まったところです。地域福祉計画においても、地域住民主体の地域づくりを推進することで、地域における福祉課題の解決を目指すことが考えられます。

第２期計画のモデル事業として行った〈交流ひろば立ち上げ支援〉（モデル地区：多摩平四丁目）で目指したことは、地域の中で顔が見える関係をつくり、そこから市民が地域福祉活動に参加する機会を増やすことでした。活動に欠席された方への安否確認のきっかけにもなりました。日野市社会福祉協議会によるサロンや交流ひろば活動は、地域づくりの基礎として、継続していく必要があります。サロンや活動に参加されない方（外に出てこない方）についても、目配りできる方法の検討が必要です。

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らすためには、「介護」「予防」「医療」「住まい」「生活支援」という５分野のサービスを一体的にとらえ、どのような健康状態や生活状況にあっても、その時に必要なサービスを適切に受けられる環境を整備することが必要です。特に高齢化の進展が予測される中、介護と医療の連携による在宅生活の支援が重要になります。

本市では、「高齢者福祉総合計画」において、地域包括ケアシステム※の構築について取り組んでいるところです。

さらに、地域の担い手として、団塊世代をはじめとした元気なシニアの方に活躍していただくことも必要です。地域の中で活躍していただくとともに、活動を通して元気を維持していただけるような場や役割が重要だと考えます。活動への動機づけになるような工夫も検討が必要です。

また、地域の中の空き家について、防犯・防災や景観の面などからも課題となっていますが、まちづくり部署と連携し、空き家所有者の意向の把握や、地域における有効活用等について検討することも考えられます。